

子ども王国 わくわく 体験フェスタ

令和6年10月26日・27日



令和六年十月二十六・二十七日（土・日）、「わくわく体験フェスタ」が開催されました。このイベントは、子どもたちの社会性や生活意欲を育むことを目的としており、県内各地から集まった小学四年生から六年生までの男女六十九名が参加しました。イベントには、二十六名のスタッフがサポーターにあたり、子どもたちが自らの力で様々な体験に取り組む機会を提供しています。スタッフの内、中高生ジュニア・リーダー三名、大学生ボランティア三名はイベントに参加しながら、子ども達のサポートを行っています。

初日は、県西中部の子供たちは各地域よりバスで鳥取砂丘へ、東部の子ども達と集合し、初顔合わせとなります。各八、九名の八班で、砂の美術館と砂丘ガイドツアー体験を行いました。鳥取砂丘では、山陰海岸ジオパーク認定ガイドさんの案内



砂丘ガイドツアー

砂の美術館では「フランス展」が開催されており、細かい細工や今にも動き出しそうな迫力ある作品を見学し感性を育みました。又、美術館での見学を通じてマナーを学ぶ機会ともなりました。



さじアストロパーク大望遠鏡

初めての班活動は、緊張しながらも直ぐに打ち解け合い、協力し合いながら行動し、チームワークやコミュニケーションの重要性を認識しました。



砂の美術館

中四松山大会に参加して

阿部 晴子

中四国ジュニアリーダー研修会が、八月二十三日～二十五日、愛媛県松山市の松山市野外活動センターで行われました。鳥取県からは、ジュニアリーダー六名が参加しました。参加した方の感想を抜粋して紹介させていただきます。



子ども会活動 実践へ

私は、中四大会に初めて参加しました。参加のきっかけは、行ってみないかと誘われたからです。実際に参加してみたら思っていたのと違いました。研修が多かったからです。研修では、最初にアイスブレイクをしました。レク「野菜畑」「えんぴつ」は注目するポイントを知っていたのですがすぐにわかりました。「べこちゃん」も参加者の半数くらいで私もわかりました。記憶に残ったのは「二拍子三拍子」です。これは、どうさんなど誰もが知っている簡単な童謡に合わせて、左右の腕で違う拍子をするレクですが、最後までできませんでした。

一番楽しかったのは、キャンプファイヤーです。キャンプファイヤーの三部構成になっている本格的なものは初体験でした。一部で、火の神が入場した時は、二部で実践するスタンツのことが気になり不安でした。二部のスタンツでは、このメンバー、今日しかできない寸劇をしよう」というテーマだったので、私の班は各地の方言を織り交ぜて考えました。私のセリフは「鳥取の給食はカレーに梨の

度は行ってみてほしいです。

中国・四国地区子ども会ジュニア・リーダー研修会参加!!

令和6年8月20日～23日 松山市野外活動センター

中四国ジュニアリーダー研修会が、八月二十三日～二十五日、愛媛県松山市の松山市野外活動センターで行われました。鳥取県からは、ジュニアリーダー六名が参加しました。参加した方の感想を抜粋して紹介させていただきます。



の「佐治谷話」を聞かせていただきました。声をあげて笑う子どもの笑顔がありました。宿泊は水ノ山の「水太くん」へ、夕食後は体育館でレクリエーションを楽しみました。ジュニア・リーダー達が主となってクイズ大会などを行い、班の結束を深めました。子ども達の感想を聞いていると、宿泊する各部屋での友達との時間は、一番の思い出になったようです。

夜間に羽目を外してしまう子どももあり、翌朝、集団行動の規律の大切さを指導されました。事故やケガを起こさないよう、自分で考え行動する大切さを再確認しました。

二日目の活動は鳥取空港へ。バスで移動している間は、仮眠をとる子、仲間と話し込む子とそれぞれの時間を過ごしました。途中、令和五年八月の台風で被災した佐治川にかかる橋の近くを通り、子ども達の中から、早急の復旧を願う声があがりました。



紙すき体験



化学消防車放水



CAさんのお話

それぞれの時間を過ごしました。途中、令和五年八月の台風で被災した佐治川にかかる橋の近くを通り、子ども達の中から、早急の復旧を願う声があがりました。

体験フェスタ」の全ての体験を終えました。帰宅後、子ども達は様々な出来事や体験を家族に話したり、体験を通じて湧いた疑問を自分で調べて解決したりと、それぞれの二日間を振り返り感想文にまとめました。このイベントを通じて、新たな発見と新しい友達との絆を深めました。自ら考え行動する力を養い、協力とコミュニケーションの大切さを学んだことでしょう。

「わくわく体験フェスタ」での体験や経験は、子ども達の成長に繋がる一つの機会になりました。鳥取県子ども会育成連絡協議会は、今後も子ども達の成長を応援し、地域全体で支える環境を作っていくことを目指しています。これからも子ども達に素晴らしい体験を提供し続けます。

出会 敦子



空港で特別なパスポートにスタンプ

難波 羽美音

最初は人と仲良くなれないと思っただけ、班の人をはじめたくさんの人と仲良くなれました。班では、自分の意見を大切にすること、発表することができました。また、子ども会活動では役割分担することやわかりやすく説明することが大切だとわかりました。

子ども会概論では子ども会議の手法としてブレインストーミング、KJ法、多数決などといった手法があることがわかりました。ですが、多数決は少数派の意見が反映されないため、あまりしないほうが良いとわかりました。またD語、Y語といってネガティブな言葉とポジティブな言葉があることがわかったので私はポジティブな言葉の多いY語をたくさん使っていきたいと思いました。

KYTでは、身近に起こる危険について自分の町のハザードマップを確認し地震などがあつた場合に危険な場所に近寄らず自分の命は自分で守りたいとおもいました。JL概論では、子ども会一つにつき一人JLがいることが目安



第51回中国・四国地区 子ども会ジュニア・リーダー研修会



鳥取県子連参加者



ですが、自分の地域の子どもの会にはJLが活動していないので、自分も積極的に参加したいと思いました。JLの必要性として、司会のサポートといった事があるとうわかりました。なので、コミュニケーション能力や知識を身につけていきたいです。

地域に関わる中高生の大切さ

桑本 健児

今回、引率として本研修会に参加しました。子ども会のみならず、地域の活動に関わってくれる中高生の力は本当に大きいと思います。鳥取県から派遣された六人も、他県のジュニアリーダーと意見交換をしていました。彼らの日頃の活動へ感謝しつつ、研修会の場では、子ども会の理想や抱える課題について、自分なりの意見を持って語ることで、JLを育成できるよう、我々育成者が、誠心誠意関わらなければならないと思います。